

サステナビリティ：ネイチャーポジティブ・自然共生に向けたアプローチ

Energy
Ecology



- 2011年「環境宣言」を起点として取り組みを推進、
2022年企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」として、持続可能な社会の実現にコミット

当社の「環境宣言」(2011年リファイン)

企業コミットメント Bridgestone E8 Commitment

環境宣言

未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために…

ブリヂストンは、お客様やビジネスパートナー、そして社会とひとつになって、「持続可能な」社会の実現を目指し、誠実に取り組みます。

そのために、次の3つの活動を行います。

- 自然と共生する**
生態系の保全や研究、教育活動を通じて、生物多様性の保全に貢献します。
- 資源を大切に使う**
商品やモノづくりの全段階を通じて、資源生産性の向上や水資源の有効活用を継続していきます。
- CO₂を減らす**
製品のライフサイクル全体を通じて、低炭素社会の実現に貢献していきます。

ブリヂストンは事業活動の全ての領域で環境活動に取り組んでいます。

商品・サービス
モノづくり 環境コミュニケーション 社会貢献
TEAMS

One Team, One Planet.
地球のために、ひとつになる。

BRIDGESTONE

「未来のすべての子どもたちが『安心』して暮らしていくために…」
という変わらない思いを込めている
「自然と共生する」ために、
「資源を大切に使う」技術を開発・活用し、
喫緊の課題である地球温暖化に対して
「CO₂を減らす」ことに誠実に取り組む

E8 COMMITMENT

Energy
Environment
Ecology
Efficiency
Emission
Economy

Bridgestone E8 Commitment to Our Future

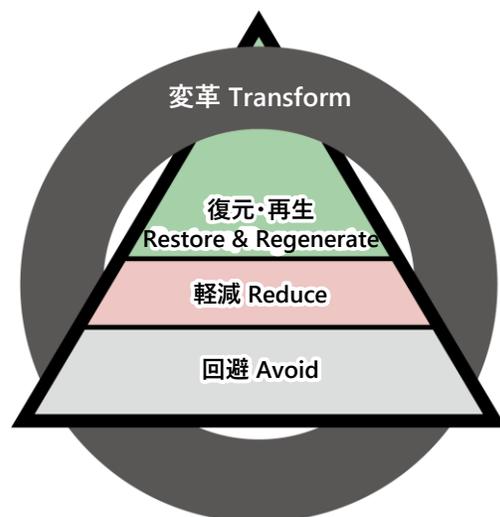
未来の子供たちからの預かり物であるこの地球のために。
ブリヂストンはコミットする。

ネイチャーポジティブ・自然共生に向けたアプローチ

■ サステナビリティとビジネスモデルを統合するブリヂストン独自のサステナビリティビジネスモデルを進化

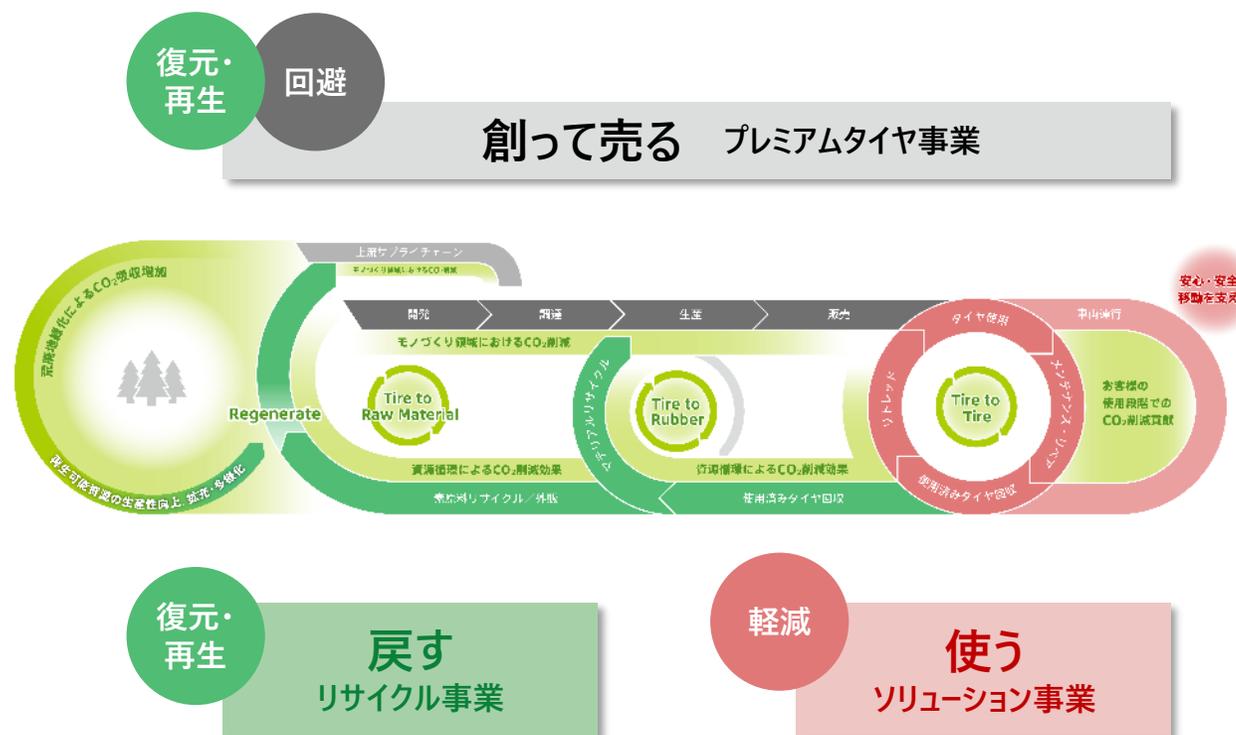
SBTs* for Nature のアクションフレームワーク

*Science-based targets



ブリヂストン独自のサステナビリティビジネスモデル

変革



出典: SBTs for Nature : Initial Guidance for Businessよりブリヂストン作成

サステナビリティビジネスモデルの進化：“ネイチャーポジティブ”に向けて、より循環型・再生型のビジネスモデルへ “カーボンニュートラル化 + サーキュラーエコノミーの実現”

変革

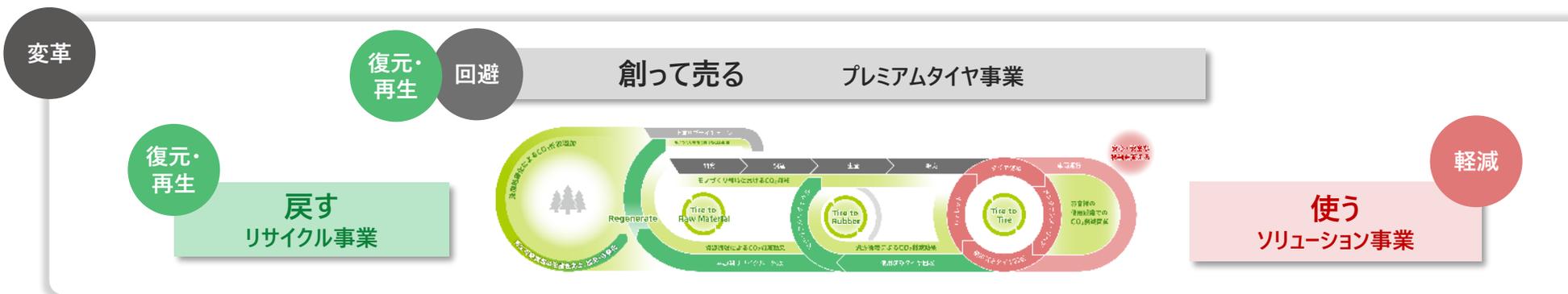


安心・安全な移動を支える

<p>戻る リサイクル事業</p> <p>EVERTIRE INITIATIVE</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 共創をベースに使用済タイヤを合成ゴムの素原料などへリサイクル推進 ■ 再生カーボンブラックの利用拡大 - タイヤ業界での連携 など 	<p>創って売る プレミアムタイヤ事業</p> <p>商品戦略と連動した開発・調達</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 再生資源・再生可能資源比率向上に向けた材料開発 ■ グアユール事業 <ul style="list-style-type: none"> ・天然ゴム資源の多様化 ・乾燥地帯・少ない水で栽培可能 ・荒廃地緑化 ⇒自然共生に向けたアプローチ強化 ■ サステナブル調達活動：サプライヤーエンゲージメント強化 	<p>生産</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 再生可能エネルギー(電力) 比率拡大 ■ グリーン&スマート工場推進 ■ 水資源を大切に使う：ウォーターシュワードシッププラン <p>販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ “新たなプレミアム” ENLITENビジネス戦略 	<p>使う ソリューション事業</p> <p>使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ TRWP*対応推進 (ロングライフ商品・ソリューション連動) ■ リトレッド ■ トラック・バス／鉱山／航空ソリューション <p><small>*TRWP = Tire & Road Wear Particles</small></p>
--	--	--	--

2030 再生資源・再生可能資源率 40% 2030 CO₂排出量 ▲50% (2011年対比)、排出量の5倍以上の削減貢献
 2050 100%サステナブルマテリアル化 2050 カーボンニュートラル化

サステナビリティビジネスモデルの進化：“ネイチャーポジティブ”に向けて、より循環型・再生型のビジネスモデルへ “カーボンニュートラル化 + サーキュラーエコノミーの実現”



	中期事業計画 (2021-2023)			中期事業計画 (2024-2026)	中期事業計画 (2027-2029)	2030	2050
	2021年	2022年	2023年				
カーボンニュートラル	Scope1&2 CO ₂ 排出量削減 (2011年対比) 25%	約29% (見込)	30%以上	26年：40%以上		30年：50%	カーボンニュートラル化
	再生可能エネルギー（電力）比率の拡大	約29% (見込)	50%以上		30年：約100%達成へ挑戦		
	社内カーボンプライシングの活用強化：\$100/tCO ₂ 、グリーン&スマート工場化（既存（含む増強）工場）：24-26年開始、27-29年加速						
	Scope3 タイヤの転がり抵抗低減などバリューチェーン全体でCO ₂ 削減貢献の拡大		SBT*認定：23年取得 (Scope1-2目標も含む) サプライヤーエンゲージメント強化	26年：SBT*更新に向けた総量削減ターゲット設定	30年：排出量の5倍以上のCO ₂ 削減貢献		
サーキュラーエコノミー	再生資源・再生可能資源比率 37%	約37% (見込)	37%以上		30年：再生資源・再生可能資源比率 40%		100% サステナブルマテリアル化

*Science-based targets

サステナビリティビジネスモデルの進化：サーキュラーエコノミー（循環型ビジネスモデル） 再生資源・再生可能資源比率の拡大に向けたアプローチ

Energy
Ecology



- 2012年「環境長期目標」で業界で初めて“100%サステナブルマテリアル化”（2050年目標）を掲げ、先駆的に取り組みを推進
3つのアクションを「創って売る」「使う」「戻す」のバリューチェーン全体で継続

1 使用する資源を減らす（リデュース）

ENLITEN

軽量化による省資源、
ロングライフなど環境性能向上

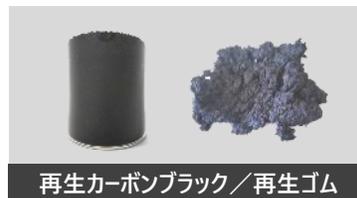


製造時の原材料ロスの低減/
原材料の効率的な活用

ソリューション事業

タイヤを安全に、長く、
上手く、効率的に使用いただく

2 資源を循環させる（リユース、リサイクル）



3 再生可能資源を拡充・多様化する



■ 再生資源・再生可能資源を活用したタイヤ開発

*MCN：再生資源・再生可能資源比率

- ・ MCN* 90% のタイヤ技術開発（日本）
- ・ MCN* 70% 以上のテストタイヤ生産（米国）

技術
開発

量産化へ向けて技術開発推進

- ・ 22年 - グアユール由来のタイヤをINDY SERIESに供給
- ・ 23年 - ブリヂストンワールドソーラーチャレンジ向け
高MCN*タイヤ投入計画

実証

モータースポーツにおいて技術を実証

2030年へ向けて：

量産タイヤの3つのアクションを継続強化
サステナブルマテリアル化を通じ、

「Ecology -

持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、
より良い地球環境を将来世代に引き継ぐ」

量産・
商業化

再生資源・再生可能資源比率の拡大：22年：約37%（見込）、23年：37%以上、30年：40% ⇒ 50年：100%サステナブルマテリアル化



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

人的創造性向上

人的創造性向上

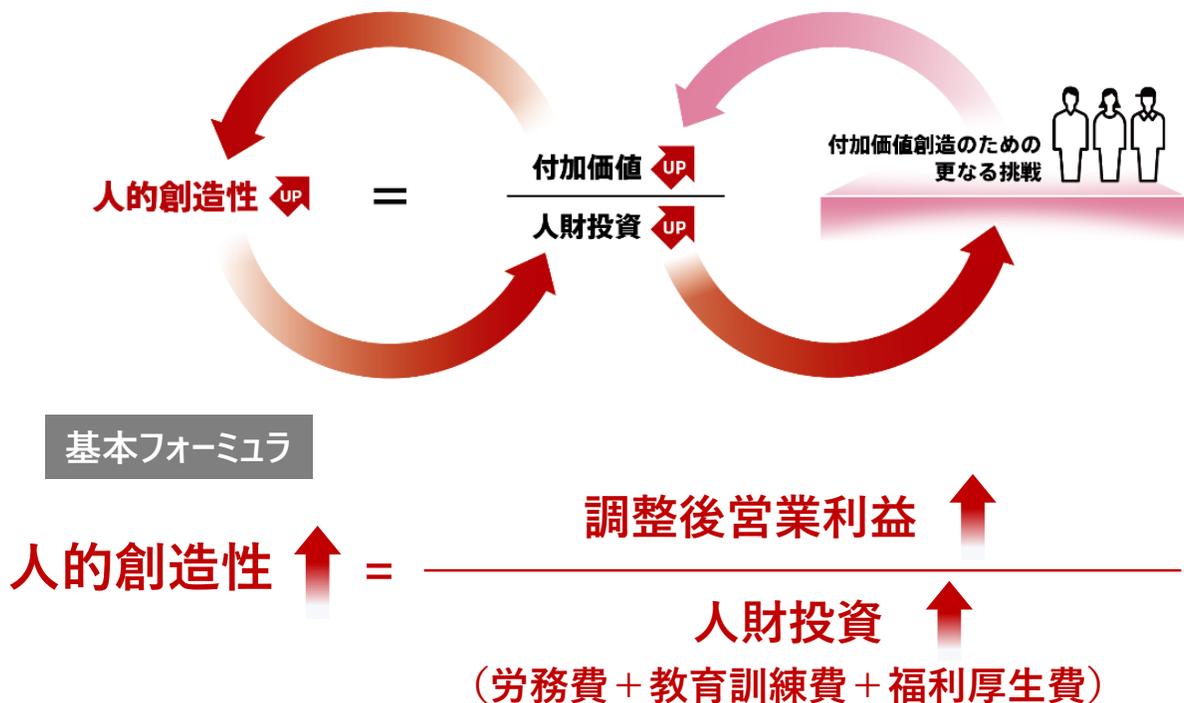
Empowerment



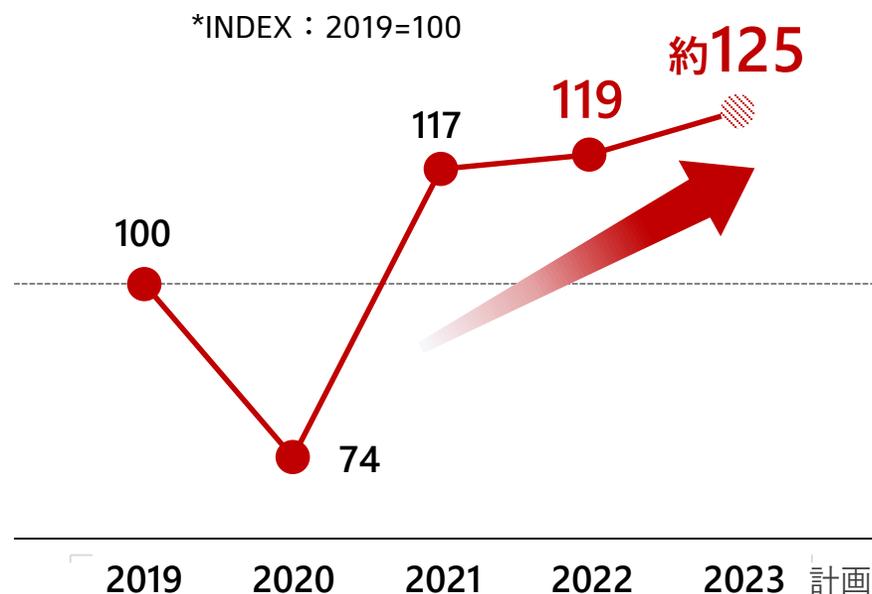
■ 「人財投資を強化し、付加価値を上げ、価値創造の好循環を生む」 - 人的創造性向上に向けた取り組みを推進
 23年から“試行” ⇒ 次期中期事業計画（2024 - 2026）からの**グローバル経営KPI**として導入予定

■ グローバル企業として、一本の軸 - グローバル共通の基本フォーミュラを設定

■ グローバル共通の基本フォーミュラでグローバルの推移を把握しながら、地域別・国別の課題に取り組む



基本フォーミュラに基づいた人的創造性



人的創造性向上：ソフトロボティクスベンチャーズの挑戦

Empowerment



- **多様な人財が“輝く”場を実現：起業家精神を発揮する場** - ソフトロボティクス事業を23年より社内ベンチャー化
ブリヂストンのDNA - お客様の困りごとに寄り添う & 挑戦をベースに、「**ゴムの力ですべての人の生活を支える**」ことに挑戦

■ ソフトロボティクスの事業化に向けた共創の実現

アセントロボティクス
株式会社



ロボットの「目」と「頭脳」
AIソフトウェア群

ロボットの「手」
ソフトロボットハンド



■ ソフトロボティクス ベンチャーズの創業メンバー：

社内・社外から起業家精神を持った多様な人財が集結

■ Bridgestone Softrobotics Day開催：「共感から共創へ」

- 2月1日 東京・小平のBridgestone Innovation Park

- パートナー、メディアの皆様をご招待し、ソフトロボットハンド技術などをご紹介



左から、アセントロボティクス株式会社 代表取締役兼最高経営責任者(CEO) 久夛良木健氏、
株式会社ブリヂストンソフトロボティクス ベンチャーズ CEO 兼 探索事業開発第1部門長 音山哲一



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

グローバル経営リスク対応

グローバル経営リスク対応

■ 「変化が常態化」する中、変化に動じない**グローバル経営リスク管理を強化**

- 各地域事業トップから構成されるグローバル経営リスクコミッティでの議論をベースに重点アイテムを設定
重点アイテムごとにプロジェクトチームを設置し、グローバル経営チームメンバーの下、リスクの洗い出しと対策を推進

① 地政学リスク

リスク発生時のビジネス影響分析と、影響ミニマイズに向けた対策の検討・実行体制の整備

- 従業員の安全確保、資産保護、顧客対応、企業・ブランドイメージの保護
- 原材料の代替ソーシング検討・確保

② TRWP = Tire & Road Wear Particles

- タイヤが安心安全な移動を支えるために必要な路面と摩擦することによって発生する粉塵で、
タイヤの表面であるトレッドと道路舗装材の混合物
- ブリヂストンのアプローチ： ---業界のリーダーとして、WBCSD（持続可能な開発のための世界経済人会議）傘下のタイヤ産業プロジェクト（TIP）や、
各地域業界団体での取り組みをリードし、他の業界関係者や学術機関などとも連携しながら、
タイヤのライフサイクルにおける環境への影響についての調査を推進
---ロングライフ商品などの訴求やソリューション事業との連携を含め、継続的なアプローチを進める

③ サイバー攻撃

- 22年：米国子会社へのサイバー攻撃を受け、地域ごとに緊急対策実施
グローバルサイバーセキュリティチームを立ち上げ、サイバーレジリエンス向上に向けた抜本対策取り組み開始
- 23年：グローバルアセスメントを実施 ⇒ グローバルスタンダード化を推進



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

戦略リソース

戦略リソース “攻め” & “挑戦”

■ 経済後退時に、次のステージへ向けて積極投資 & 攻略 – ブリヂストンDNA “挑戦”

プレミアムタイヤ、ソリューション、化工品/多角化、探索事業、サステナビリティ、人的創造性向上へのリソース投入バランスを担保

■ プレミアムタイヤ事業を中心に、ブリヂストン独自の成長基盤を構築

ブリヂストン流のモビリティエコシステム構築・探索領域の共創拡大に向けたCVCや戦略的パートナーシップへの投資も継続

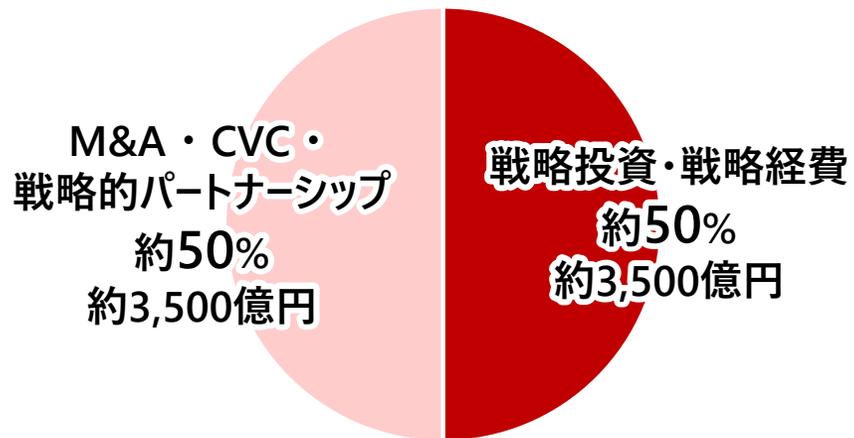
21年2月発表 - 中期事業計画 (2021-2023)

戦略リソース 約7,000億円レベル投入



21年/22年実績+23年計画

戦略リソース 約5,700億円レベル投入

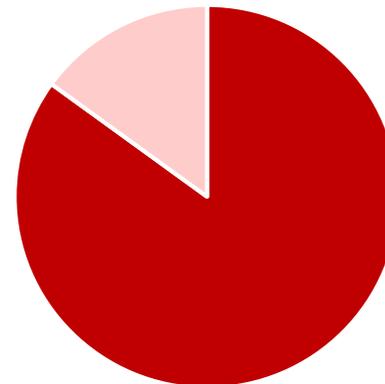


M&A・CVC・
戦略的パートナーシップ

約15%

約800億円

(23年：約200億円)



戦略投資・戦略経費

約85%

約4,900億円

(23年：約2,700億円)

2021年実績

2022年実績

2023年計画

約1,400億円

約1,400億円

約2,900億円

24年以降の戦略投資・戦略経費：約2,200億円

(既に計画済みのプロジェクトのみ)

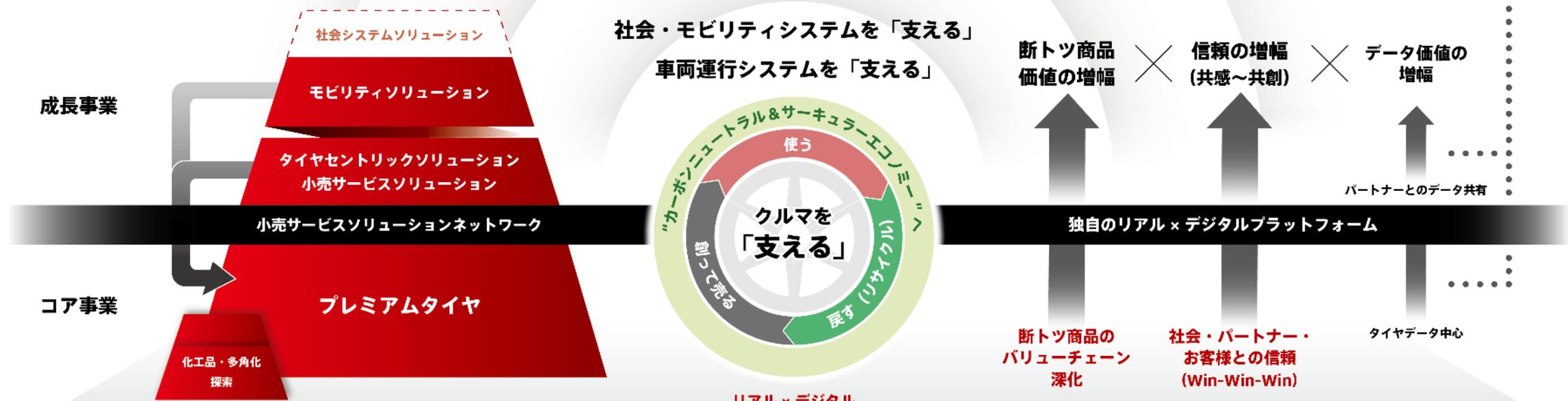
使命：最高の品質で社会に貢献

VISION：2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ
Solutions for your journey



Bridgestone E8 Commitment

クラウド
プラットフォーム



リアル×デジタル
タイヤ・ソリューションは生命を乗せている

新たなコアコンピタンス	新グローバルフットプリント	究極のカスタマイズ	新ブランドパワー	技術&イノベーション	新グローバル&ポートフォリオ経営			
ブリヂストンDNA	品質へのこだわり	現物現場	お客様の困りごとに寄り添う	挑戦				
基盤	サステナビリティ	コンプライアンス・人権	DE&I	ガバナンス	BCP・リスクマネジメント	人的創造性向上	新たなDNA創造	安心・安全



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。

Appendix (補足資料)



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

2022年総括 & 2023年計画



2022年総括 & 2023年計画

過去の課題に正面から向き合い、
先送りしない

足元をしっかり、実行と結果に拘る

将来への布石を打つ

■ 稼ぐ力の再構築 - 2023年：第一ステップ終了を計画

- 生産拠点・事業再編の実行 「やること」「やらないこと」の明確化
中期事業計画 (2021-2023) で計画した再編を2022年までにほぼ完了
- 経費・コスト構造改革の推進：営業費改善 - 22年&23年計画通りに進捗
- 資本コストを重視した経営へ - 23年：ROIC 10%達成を計画
2020-2022年：グローバルでROIC浸透活動強化⇒「稼ぐ力」の理解、意識定着
現場レベルの浸透に向けて、各部門にアンバサダー設置（日本）など
キャッシュコンバージョンサイクルの着実な改善
2023年：浸透活動徹底強化、SBU別/地域別ROIC管理徹底
⇒新グローバル・ポートフォリオ経営の基盤構築

■ 企業カルチャーチェンジ・人財投資強化：2022年より強化着手

- 人的創造性向上：
2023年から試行、
次期中期事業計画 (2024-2026)からグローバル経営指標へ
23年：日本における人財投資強化推進・人的創造性の向上
グローバルにおいても強化推進 - 各地域の状況に沿った施策実行
- Bridgestone E8 Commitmentと連動した企業カルチャーチェンジ推進
22年：グローバルでの浸透活動開始⇒グループグローバルで認知度90%
23年：浸透活動強化継続、グローバルTQM活動、グループアワードと連動



2022年総括 & 2023年計画

過去の課題に正面から向き合い、
先送りしない

足元をしっかり、実行と結果に拘る

将来への布石を打つ

■ PDCAを迅速に回し、“実行”と“結果”に拘るマインドセットの浸透

激動の事業環境を乗り越える過程で少しずつ浸透

<2022年>

- ロシア事業関連、中国COVID-19、米国子会社へのサイバー攻撃
- 原材料・エネルギー・労務費等の高騰
- 第3四半期以降の事業環境変化：欧州の景気後退・米国経済先行き不透明



事業環境の変化にフレキシブル・アジャイルに対応

- グローバル生産フットプリントを基盤とした
サプライチェーンのフレキシブル・アジャイルマネジメントの推進
- 値上げ含む戦略的価格マネジメント、プレミアムタイヤへのフォーカス強化：
販売MIXアップ / 拡売・シェアアップ



2023年：継続強化 次のステージへ

■ 従来発想での不可能マインドセットを打破：変化をチャンスに

<2023年>

厳しい事業環境下においても、商品・サービスの価値を認めて頂くことをベースに
値上げ含む戦略的価格マネジメントの更なる強化

- プレミアム領域の更なる拡売・シェアアップ
- 市販用プレミアム商品での値上げ力強化：21-22年で欧米に定着
⇒ 日本・アジアにおいても強化
- 新車用・鉱山用タイヤにおいても強化推進
⇒ 22年欧米ではスタート、日本・アジア・鉱山用タイヤにおいても着手



変化をチャンスへ、ビジネスの質を向上



2022年総括 & 2023年計画

過去の課題に正面から向き合い、
先送りしない

足元をしっかり、実行と結果に拘る

将来への布石を打つ

■ プレミアムタイヤ事業：プレミアム戦略強化

< 2023年 >

- ・ プレミアム商品を「創って売る」体制強化：戦略的成長投資
プレミアム戦略を支えるグローバル生産フットプリントの構築

・ “新たなプレミアム”の創造 < 技術・商品・ビジネスモデル・ブランド >

技術・商品・ビジネスモデルの研磨

ENLITENビジネス戦略：技術・商品・ビジネスモデルへ価値を拡大

- ・ 乗用車系：“EV時代の新たなプレミアム”
- ・ トラック・バス系：“循環ビジネス時代の新たなプレミアム”

⇒ソリューション連動、バリューチェーン全体で価値を創出

鉱山用タイヤ Bridgestone MASTERCORE：

断トツ商品と連動を深めるソリューションを展開

BCMA*推進

*Bridgestone Commonality Modularity Architecture

新ブランドパワーの構築：

サステナブルなグローバルプレミアムブランド構築着手

2023年：ブリヂストンモータースポーツ60周年

サステナブルなグローバルモータースポーツ再開へ向けた基盤構築

■ ソリューション事業：「見極め」

各ソリューションの見極めを23年6月までに完了、見極めた事業の成長加速

- ・ プレミアムタイヤとの事業シナジー、成長性・収益性などから包括的に判断
- ・ モビリティ成熟市場である欧米で新体制
- ・ Bridgestone Mobility Solutions（BMS）でのリード

ブリヂストン流モビリティエコシステムの構築

■ 化工品・多角化事業：シャープにコアコンピタンスが活きる領域にフォーカス

■ 探索事業：共創ベースに推進継続

リサイクル、ソフトロボティクス、グアユールの事業化推進



2022年総括 & 2023年計画

過去の課題に正面から向き合い、
先送りしない

足元をしっかり、実行と結果に拘る

将来への布石を打つ

■ ネイチャーポジティブに向けたアプローチ強化：経営の中核 サステナビリティビジネスモデルの確立

カーボンニュートラル化

*2011年対比/Scope1-2

2022年：CO₂排出量削減* 約29%（見込）

2023年：CO₂排出量削減* 30%以上

- グローバルで再生可能エネルギー（電力）比率を拡大：
22年 約29%（見込）、23年 50%以上、30年 約100%達成へ挑戦
- SBT*認定：23年取得、サプライヤーエンゲージメント強化（Scope3） *Science based target

2030年：CO₂排出量削減*：50%以上 / 排出量の5倍以上のCO₂削減貢献（Scope3）

2050年：カーボンニュートラル化

サーキュラーエコノミーの実現

再生資源・再生可能資源比率：2022年 約37%（見込）、23年 37%以上、30年 40%

2050年 100%サステナブルマテリアル化

- 再生資源・再生可能資源比率向上に向けた材料開発：
ENLITENビジネス戦略連動、商品戦略連動（含むリトレッド）
- リサイクル事業推進、再生可能資源強化：天然ゴム事業、グアール事業

ネイチャーポジティブに向けた包括的な取り組みをビジネスと連動して推進

■ グローバル経営リスク対応：重点アイテム3点について対応推進

- ① 地政学リスク
- ② TRWP* への対応 *TRWP = Tire & Road Wear Particle
- ③ サイバー攻撃

■ 新グローバル・ポートフォリオ経営体制の基盤構築

- ・ ローカルへも深く：国別／地域別／個別課題
- ・ ブリヂストンWEST／EASTシナジー最大化

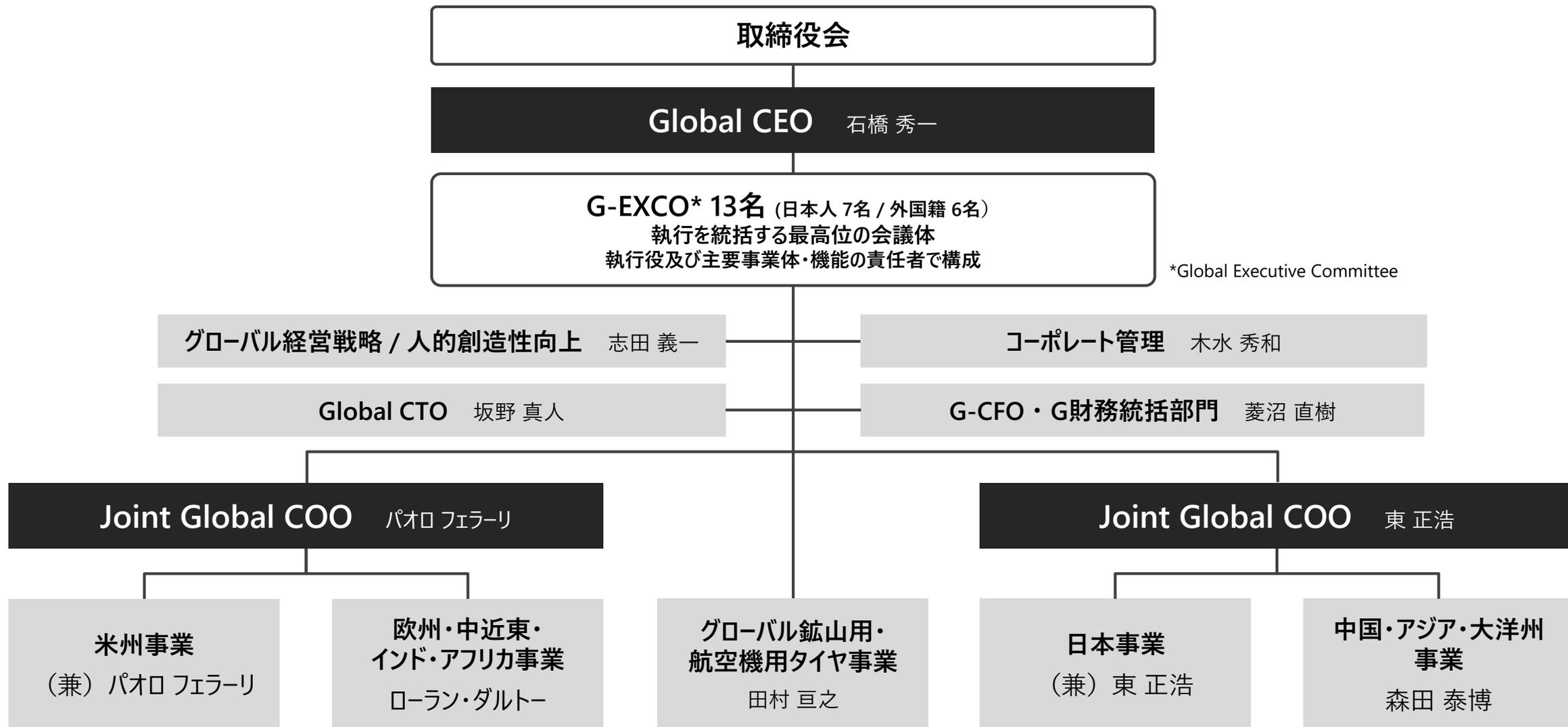


- ・ 次期中期事業計画（2024-2026）を見据えた
ブリヂストン独自の地域・事業ポートフォリオ構築へ

経済後退時期に、次のステージへ向けて積極投資&攻略：

プレミアムタイヤ事業、ソリューション事業、化工品/多角化事業、探索事業、サステナビリティ、人的創造性向上へのリソース投入バランスを担保

2023年執行体制



*Global Executive Committee



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

ソリューション事業



ソリューション事業：各ソリューション事業の見極め、見極めた事業の成長スタート

- 各ソリューション事業を、**プレミアムタイヤとの事業シナジー、成長性・収益性**などから、**23年6月までに見極め見極めた事業にリソースを集中し、次期中期事業計画（2024 - 2026）での成長に向けた基盤を構築**

タイヤセントリックソリューション

リトレッド



ソリューションの中核

- ・ 北米で高収益バンダグリトレッド拡大
- ・ 日本にて拡大・強化
- ・ 欧州・新興国にてビジネスモデル構築



タイヤマネジメントソリューション /サブスクリプション

- ・ 新品タイヤ・リトレッド・メンテナンスを一括受託
- ・ タイヤライフを通して使用状況に応じて最適なサービスを提供

デジタル・先進タイヤモデル

(タイヤ空気圧・温度モニタリングなど)



タイヤデータを駆使し、お客様により良くタイヤを「使って」頂くサービスを拡充

- ・ Tirematicsなど、デジタルを駆使した先進的なタイヤマネジメントサービスを拡充
- ・ リトレッド、モビリティソリューションを組み合わせ、マネタイズ・顧客拡大

鉱山ソリューション



断トツ商品の価値を増幅 “リアル×デジタル”

- ・ 鉱山オペレーションの生産性向上・経済価値の最大化へ

航空ソリューション



タイヤデータ・フライトデータを活用
航空会社オペレーションを最適化する
ビジネスモデル拡充 “共創”

小売サービスソリューション

事業として拡充を図ると共に、プレミアムタイヤ事業・ソリューション事業の成長エネイブラーとして機能強化

- ・ 小売サービス (タイヤ周りのサービス+メンテナンス)
- ・ 小売ファイナンス - 北米
- ・ モバイルバンサービス



モビリティソリューション

- ・ フリートマネジメントソリューション：
 - WFS・AZUGAにおけるFMSビジネスモデル確立
 - EV車両マネジメントサービスなどEV対応推進



- ・ タイヤセントリックソリューション & 小売サービスソリューションとのシナジー拡大
⇒プレミアムタイヤ+リトレッド/メンテナンス+車両運行管理を一括で請け負う“フリートケア”を欧州から拡充





中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

化工品・多角化事業

化工品・多角化事業のプレミアム戦略推進

- シャープにコアコンピタンスが活きる領域にフォーカス：プレミアム化・ソリューション化及び、サステナビリティを中核とした投資推進



2021-22年投資 2023年投資
約60億円 約20億円

増強完了までの投資総額
約220億円

プレミアム ゴムクローラ生産への投資を実行
ポーランド ジャルフ工場 生産能力増強

プレミアム油圧ホース生産への投資を実行
タイ ラヨン工場 生産能力増強

ブリヂストンのコアコンピタンス「ゴムを極める」をベースとした
「高分子複合体を極める」を活用し、競争力のあるプレミアム商品を開発・販売

EV向け空気バネ - EV化を支える
米国 ウィリアムズバーグ工場 生産能力増強



中期事業計画 (2021-2023)進捗

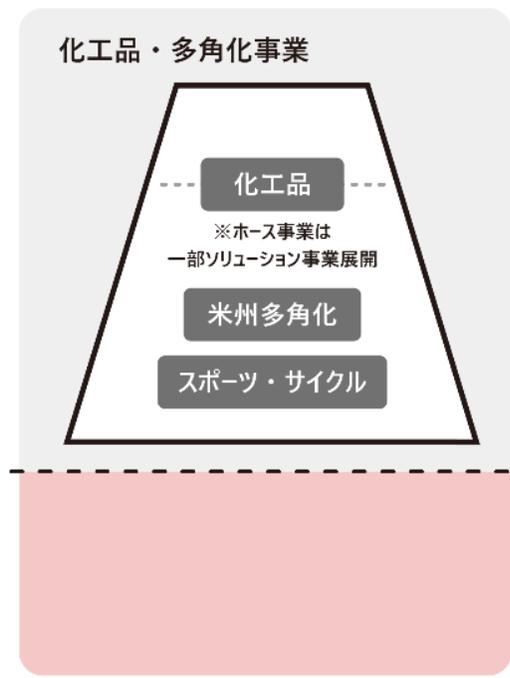
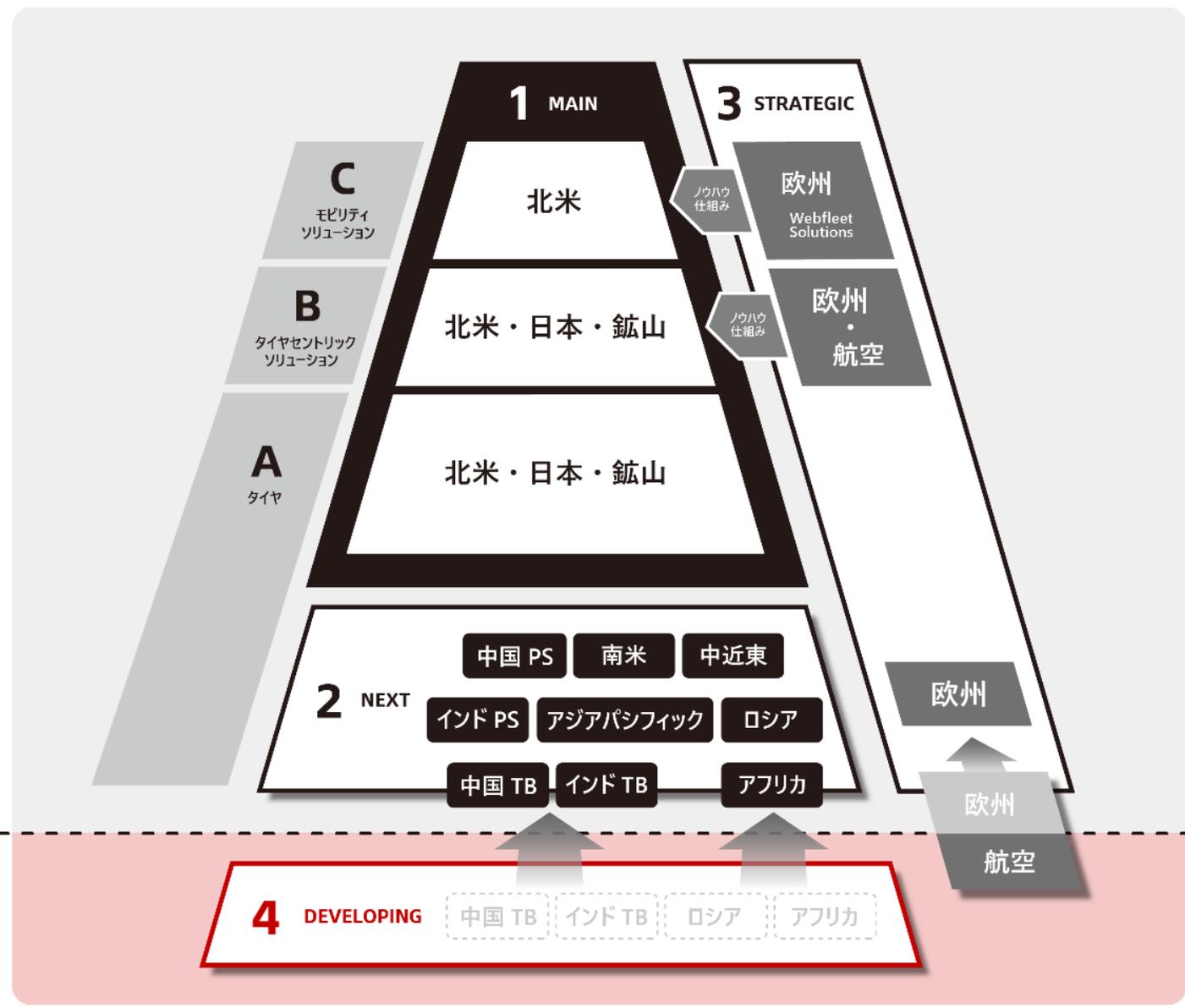
「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

新グローバル・ポートフォリオ経営体制

- 事業ポートフォリオ 2022年計画 & 実績 -



事業ポートフォリオ 2022 計画

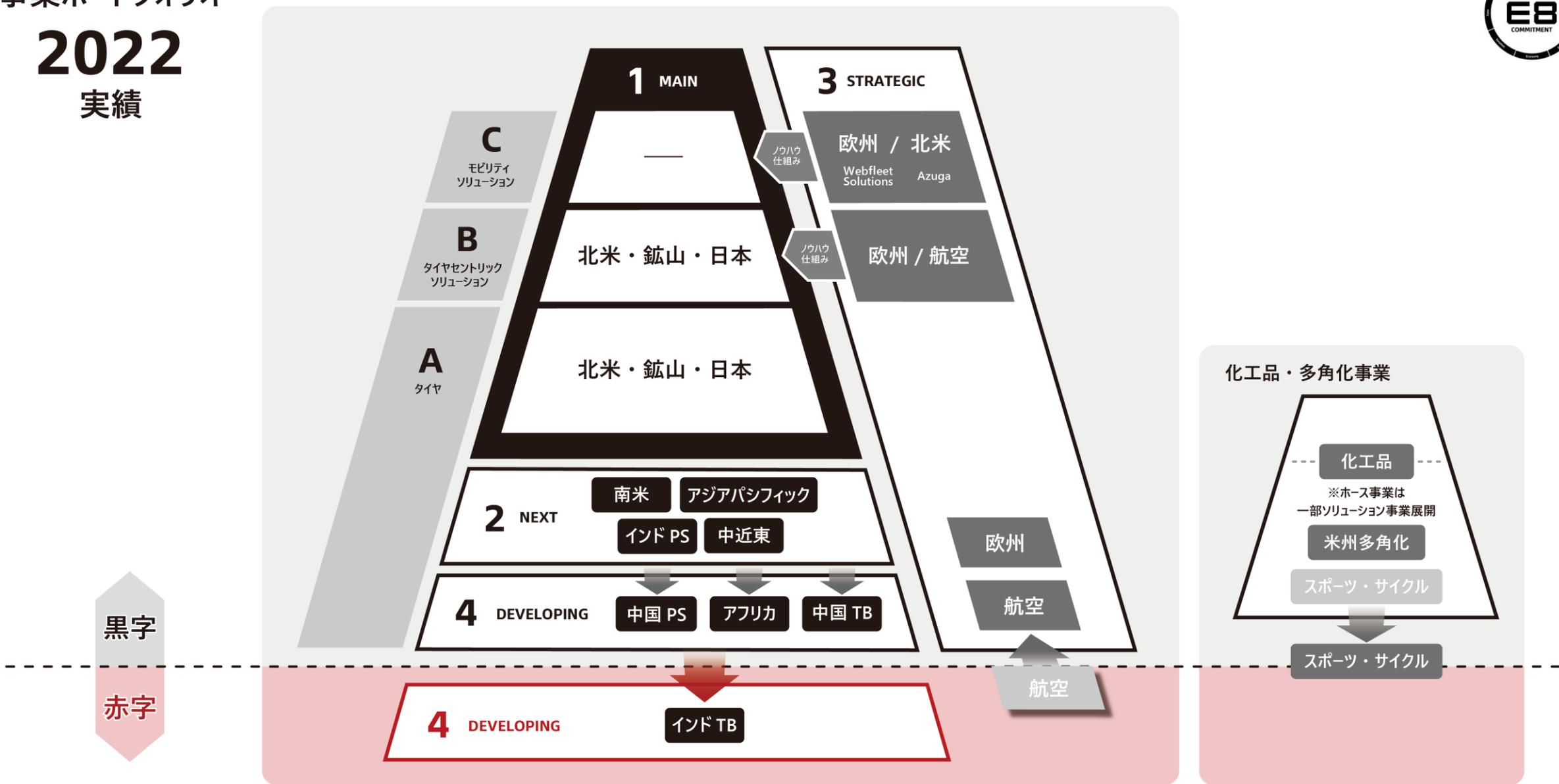


黒字
赤字

TB: トラック・バス用タイヤ, PS: 乗用車用タイヤ



事業ポートフォリオ 2022 実績



TB: トラック・バス用タイヤ, PS: 乗用車用タイヤ



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

技術 & イノベーション：共感から共創へ



Bridgestone Innovation Park

イノベーションを通じて新たな価値を創造するグローバル拠点
共感からスタート、共議・共研・共創へ

B-Mobility

B-Innovation

Bridgestone
Innovation
Gallery



中期事業計画 (2021-2023)進捗

「2030年 長期戦略アスピレーション」を道筋として変革を加速

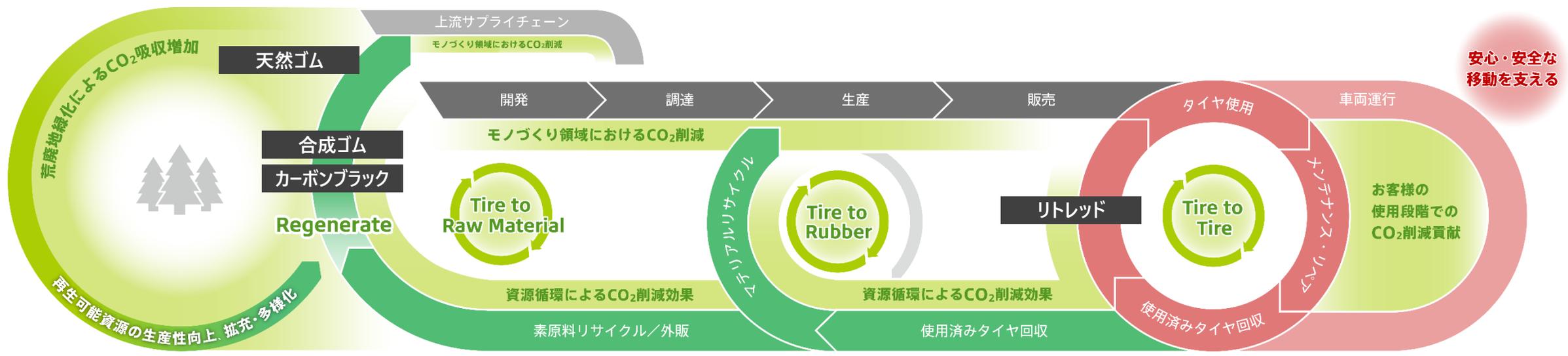
サステナビリティビジネスモデル

サステナビリティビジネスモデルの進化：“ネイチャーポジティブ”に向けて、より循環型・再生型のビジネスモデルへ “カーボンニュートラル化 + サーキュラーエコノミーの実現”

Energy Ecology



■ ブリヂストン独自のサステナビリティビジネスモデルをより循環型・再生型へ進化





サステナビリティビジネスモデルの進化：カーボンニュートラル

■ カーボンニュートラル化の実現に向けて、グローバルで再生可能エネルギー（電力）の導入を強化

欧州

グループ会社BSEMIAの欧州全拠点：
消費電力100%再生可能エネルギー化 (2021)
2022年：ブルゴス工場（スペイン）
大規模太陽光発電システム稼働

日本

彦根・下関・鳥栖・北九州工場：購入電力100%再生可能エネルギー化（2021）
太陽光発電パネル設置：
～2022年：栃木・久留米・鳥栖・北九州工場、
Bridgestone Innovation Park内 B-Innovation
化工品試験・開発センター（横浜）
2023年 下関工場新設・北九州工場：大規模太陽光パネル設置

アジア

タイ チョンブリー工場：
太陽光発電パネル設置（2021）

中国 天津・無錫工場：
購入電力100%再生可能エネルギー化（2021）

米国

エイケン工場：
太陽光発電パネル設置（2021）



2022年
タイ ノンケー工場：
大規模太陽光発電パネル設置

再生可能エネルギー（電力）比率の拡大 **22年：約29% (見込)**、**23年：50%以上**、**30年：約100%達成へ挑戦**

サステナビリティに関する主な第三者評価結果

Energy
Ecology
Empowerment



■ DJSI Worldへの4年ぶりの選定など、多くの第三者機関からポジティブな評価を獲得：信頼の獲得

■ 主要なサステナビリティ指標選定結果 (2022年末時点)



CDP Climate Change (2022): A-
Water Security (2022): A-
Supplier Engagement (2021) : A

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

DJSI World (4年ぶり選定)
DJSI Asia Pacific (13年連続)



FTSE4Good

FTSE4Good Index Series
(4年連続)

■ 国内の主なサステナビリティ指標選定結果 (2022年末時点)



FTSE Blossom
Japan

GPIF採用ESG指数

- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI JAPAN
ESG SELECT LEADERS INDEX

2022 CONSTITUENT MSCI JAPAN
EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)



PRIDE指標
最高位 Gold
(5年連続)



エコ・ファースト
企業
(2011~)

■ 海外の主なサステナビリティ指標 (2022年末時点)



EcoVadis Platinum
(Bridgestone Europe)



Global CSR & ESG
Summit Awards
(BSCAP: Two Golds)



免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。